

## パブリックコメント実施結果

件名 デジタル田園都市国家構想の実現に向けた  
第2次宍粟市地域創生総合戦略<Plus DX> 版(案)に関するパブリックコメント  
担当課 市長公室秘書政策課

意見の募集期間 令和6年2月6日から令和6年3月6日まで  
意見提出者数 1人(持参1人、郵送0人、FAX0人、電子メール0人、  
応募フォーム0人)  
意見提出件数 2件

### 意見の概要と市の考え方

反映区分		
A: 計画等に反映させるもの		0件
B: 計画等に反映済みのもの		1件
C: 今後の参考とするもの		0件
D: 計画等に反映できないもの		0件
E: その他の感想や質問など		1件

[項目名 (施策等の案の項目別に整理すること) ]

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	反映区分
1	<p>デジタルを駆使するところとアナログを駆使するところの区別と差別を行う。</p> <p>例えば市役所内の業務について、デジタルで補えるところは徹底的にデジタルを配分し、他のことに時間をまわすことにより、アナログが必要なところに時間をかけることができ、クオリティの向上が図られる。また、職員の労働時間も減り、働き方改革にもつながる。市職員の労働環境向上は、市民サービスの向上とまちの活性化にもつながる。アナログ面としては、地域イベントのクオリティ向上を図ることができる。</p>	<p>国が示す自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画においても、今後、少子高齢化・人口減少が進み、行政資源が制約されていく一方、住民の生活スタイルやニーズが多様化している中においては、行政手続のオンライン化や、住民と行政との接点(フロントヤード)の改革により、住民サービスの利便性向上と業務の効率化を進め、企画立案や相談対応への人的資源のシフトを促し、持続可能な行政サービスの提供体制を確保していくことが盛り込まれています。</p> <p>計画中「〇宍粟市の地域創生を進めるための&lt;Plus DX&gt;の視点_3つの柱」デジタル人材の育成・確保に掲げておりますとおり、市民の利便性向上、事務の効率化を念頭に行政業務の</p>	B

		<p>最適化を図るとともに、市職員の意識改革及びICTスキル向上をめざします。</p> <p>ご意見のとおり、業務改善により生まれた人的資源を最適に配置することで、政策の企画立案等の充実が図られ、窓口業務においても、より相談業務等きめ細やかな業務にシフトすることが可能になると認識しており、引き続き推進を図ってまいります。</p>	
2	<p>重点戦略4にある「森林の魅力を中心とした様々な体験」を掘り下げ、突き詰めたい。広葉樹林の一部促進や、耕作放棄地の再生や利活用に興味がある。すべては市民が生き生きと健康に楽しく暮らせるために尽力したい。</p>	<p>ご意見のとおり、計画に掲げる定住促進にかかる重点戦略の各施策や取組については、住民の皆様の参画やご協力が必要です。誰もが安全安心にデジタルの恩恵を受けることができる環境整備に努め、人と自然が輝き活力に満ちた持続可能な地域の創生をめざします。</p>	E